

令和6年3月

令和6年	1月	～	3月期	実績
令和6年	4月	～	6月期	見通し

中小企業景況調査報告書

岩手県商工会連合会

主要景況項目の動き.....	2
業況天気図	3
全産業の推移	4
製造業の推移	7
建設業の推移	11
小売業の推移	15
サービス業の推移	19
全産業の過去データの推移	23
* 平成15年1月以降	
〔集計資料〕	

D・Iとは

D・Iとは、ディフュージョン・インデックスの略です。これは、企業経営者の景気動向を表す指標として利用されています。

算出方法は、増加（上昇・好転）企業割合から減少（低下・悪化）企業割合を差し引いたものです。

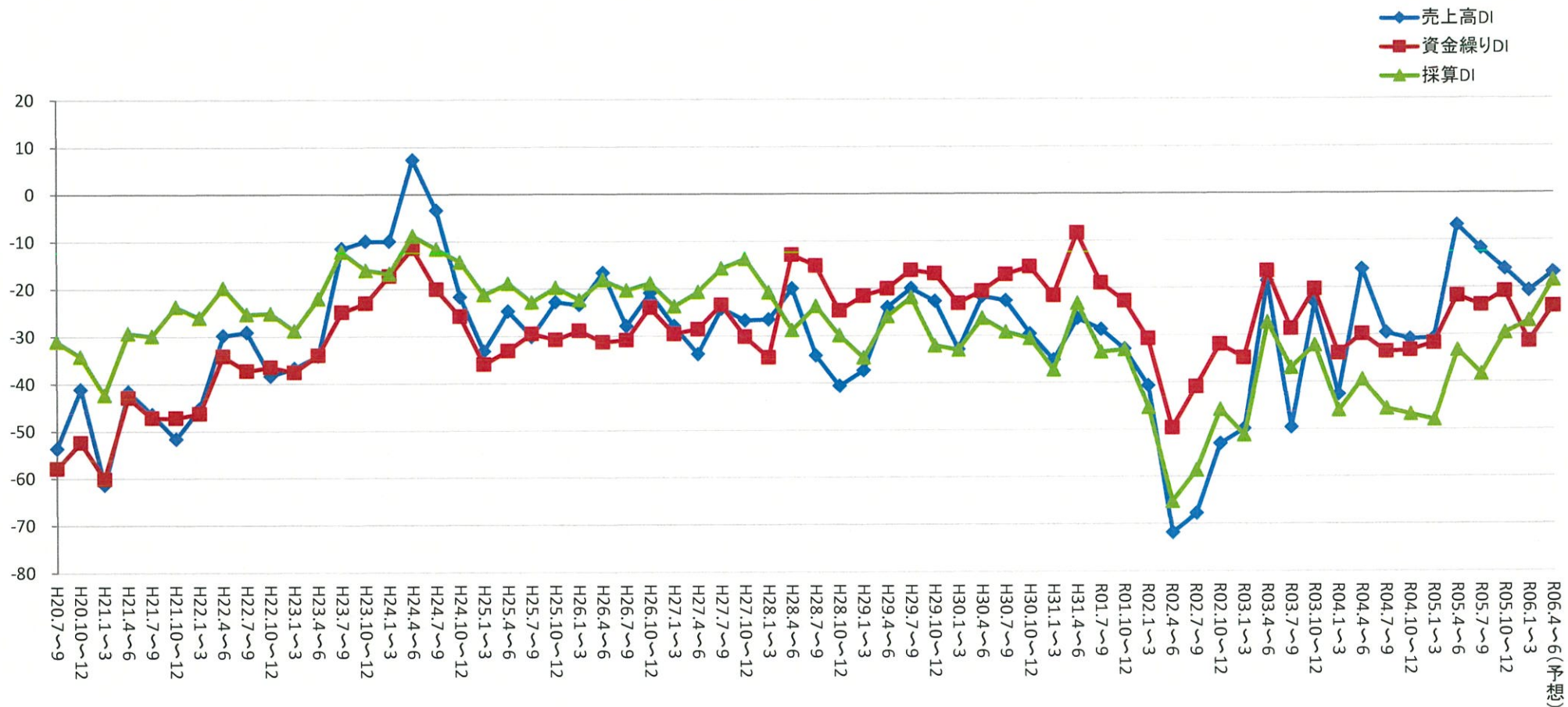
D・Iがプラスなら強気（楽観）、マイナスなら弱気（悲観）、原材料または商品の仕入単価の場合はプラスなら上昇気運、マイナスなら低下気運となります。

プラス、マイナス同数の場合はD・Iはゼロになります。

たとえば、売上高増加企業50%、不変企業30%、減少企業20%の場合、 $D・I = 50 - 20 = 30$ となり、全体として経営者の売上高に対する強気の度合いを表しています。

[岩手県 産業全体]

主要景況項目の動き ー前年同期比ー



業 況 天 気 図

期 間 業 種	令和4年 4～6月	7～9月	10～12月	令和5年 1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	(今期) 令和6年 1～3月	(見通し) 4～6月
製 造 業	 晴	 薄 曇	 曇	 曇	 曇	 雨	 曇	 曇	 薄 曇
建 設 業	 薄 曇	 曇	 雨	 雨	 曇	 雨	 曇	 曇	 雨
小 売 業	 雨	 雨	 雨	 曇	 曇	 薄 曇	 雨	 雨	 雨
サ ー ビ ス 業	 雨	 雨	 雨	 曇	 晴	 晴	 薄 曇	 曇	 曇

売 上 高 D I	100.0 ～30.1	30.0 ～10.1	10.0 ～△10.0	△10.1 ～△30.0	△30.1 ～△100.0
表 示	 快 晴	 晴	 薄 曇	 曇	 雨

全産業の推移

売上高

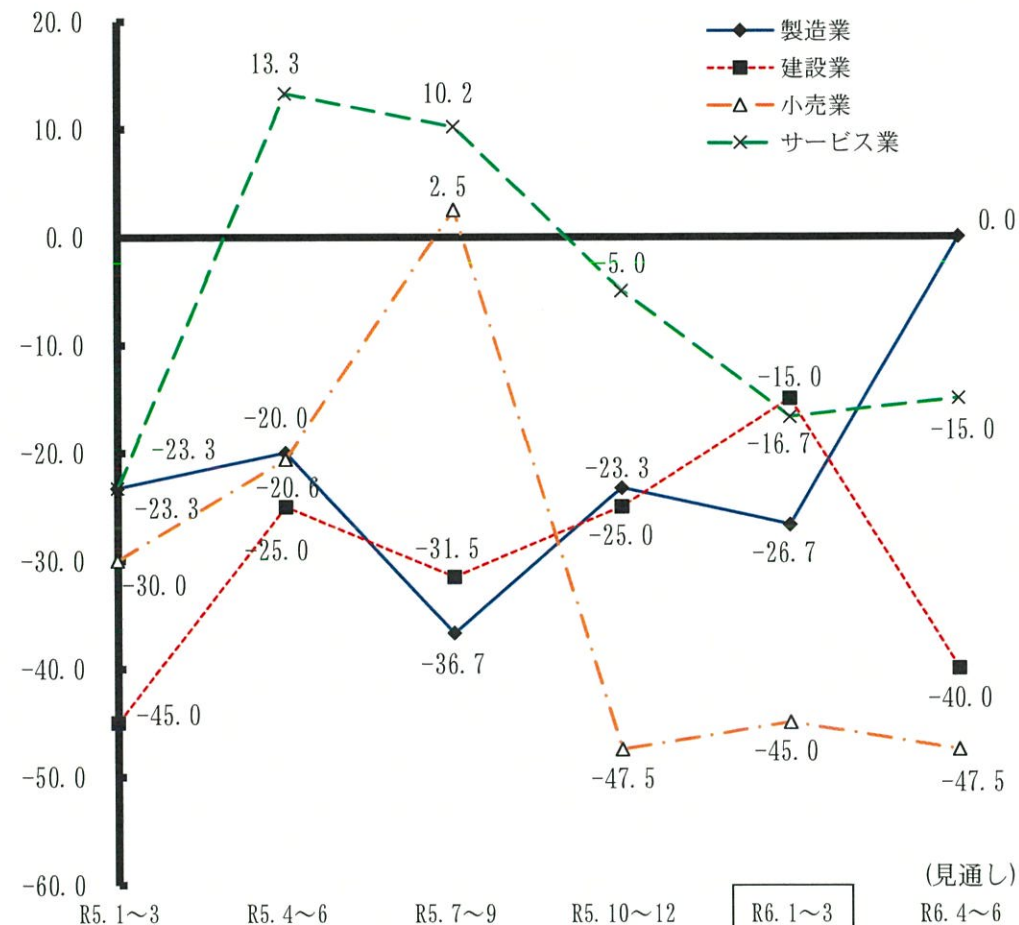
**サービス業の売上高D・Iが3期連続の悪化
建設業が2期連続の改善、小売業は小幅改善**

今期の売上高D・Iは、サービス業が3期連続の悪化となりました。また、製造業も悪化に転じています。他方、建設業は2期連続の改善、小売業も小幅ながら改善に転じています。

サービス業は11.7ポイントの低下となり△16.7まで悪化、製造業も3.4ポイント低下して△26.7となりました。他方、建設業は前期に引続き改善し、10.0ポイント上昇して△15.0、小売業が2.5ポイントと小幅ながら上昇に転じて△45.0まで改善したものの、依然として低水準にあります。

来期は、製造業において大幅な改善が見込まれるものの、改善傾向にあった建設業は大幅に悪化し、小売業も小幅に悪化、サービス業においては小幅な改善にとどまる見通しとなっています。

※建設業の売上高は完成工事高



全産業の推移

採 算

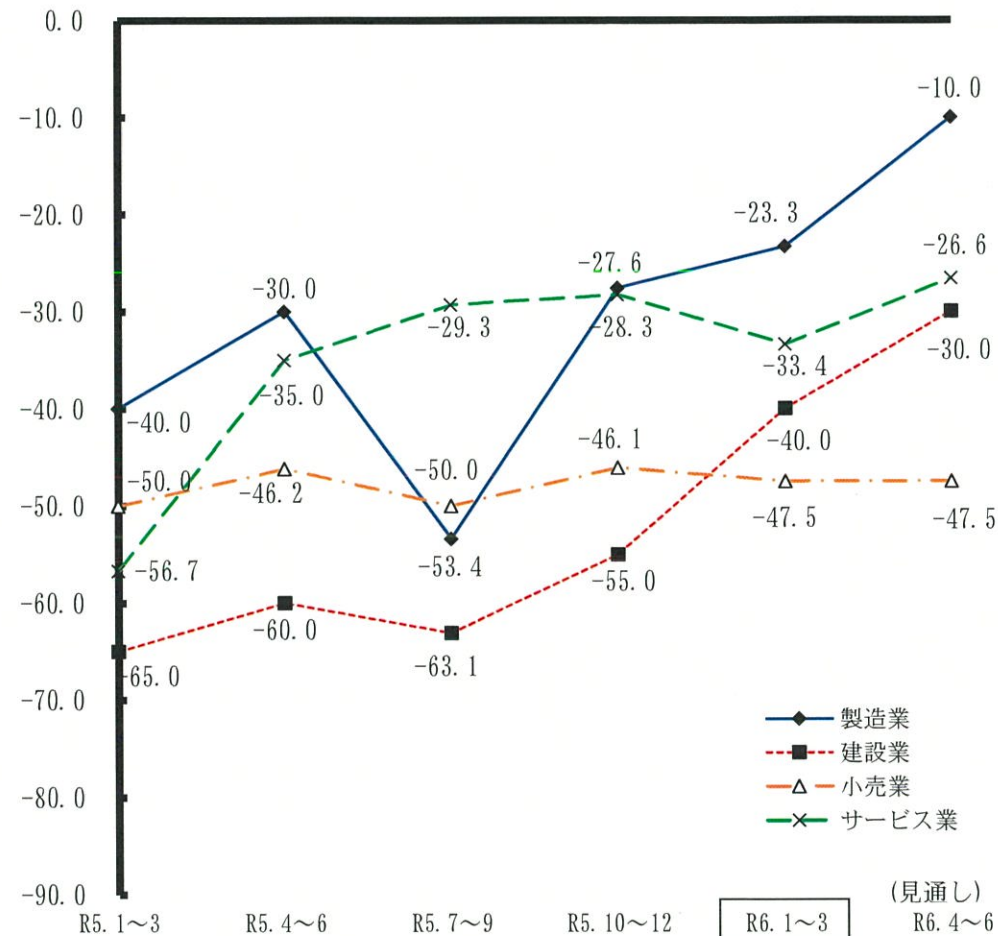
製造業、建設業において採算D・Iが改善
サービス業、小売業は小幅に悪化

今期の採算D・Iは、製造業、建設業2期連続の改善となりました。改善傾向にあったサービス業が悪化に転じ、小売業も小幅ながら悪化に転じています。

製造業は4.3ポイント上昇して△23.3、3まで改善、建設業は15.0ポイントと大幅に上昇して△40.0まで改善しました。他方、サービス業は5.1ポイントの低下により△33.4まで悪化、小売業も1.4ポイントと僅かながら低下して△47.5まで悪化し、低水準での推移が続いています。

来期は、製造業、建設業が3期連続の改善、サービス業も改善に転じることが予想されるものの、小売業は横ばいにとどまり、引き続き低水準で推移することが見込まれています。

※採算は各業種とも経常利益



全産業の推移

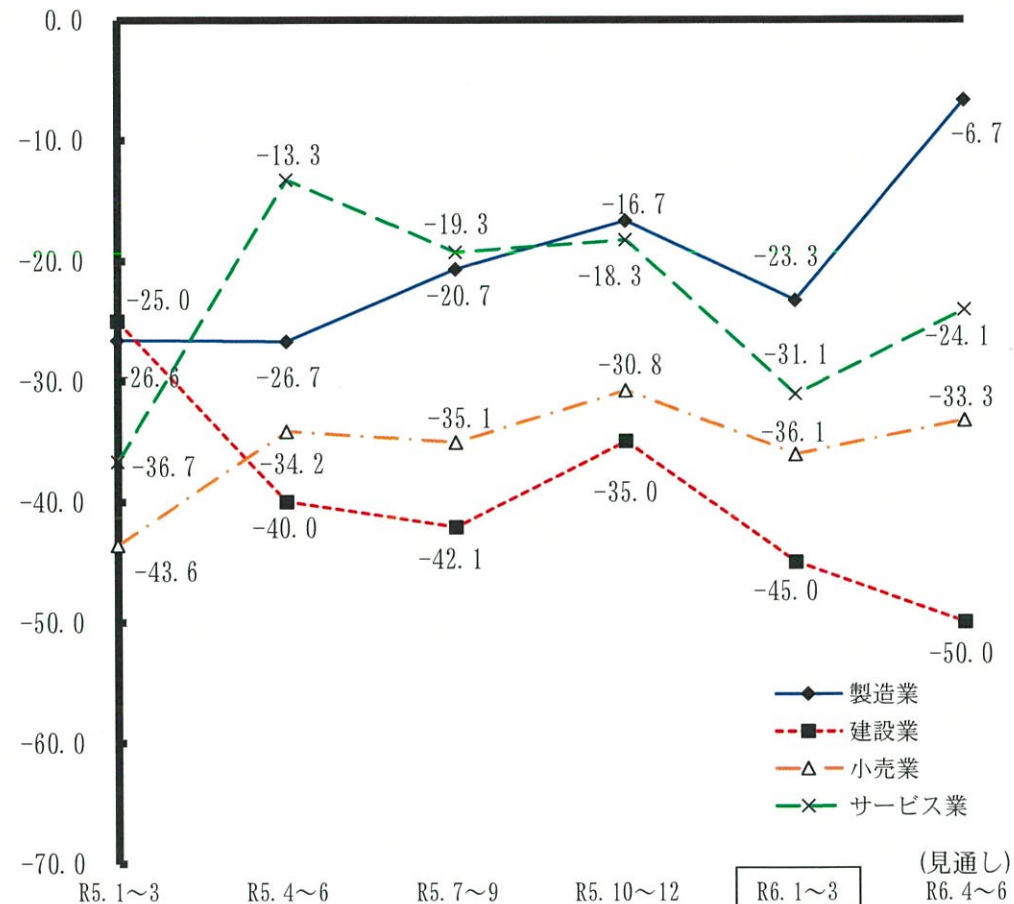
資金繰り

全業種において資金繰りが悪化
サービス業、建設業が大幅に悪化

今期は全業種において資金繰りD・Iが悪化しました。前期、改善傾向にあったサービス業、建設業が低下に転じ、大幅な悪化となっています。

前期改善傾向にあったサービス業は12.8ポイントの大幅な低下により△31.1まで悪化、同じく改善傾向にあった建設業も10.0ポイント低下して△45.0まで悪化、製造業も6.6ポイント低下して△23.3、小売業も5.3ポイント低下して△36.1までそれぞれ悪化しています。

来期は、製造業において大幅な資金繰りD・Iの改善が見込まれ、またサービス業、小売業も改善に転じることが予想されるものの、建設業は2期連続しての悪化となることが見込まれています。



製造業の推移

売上高

<今 期>

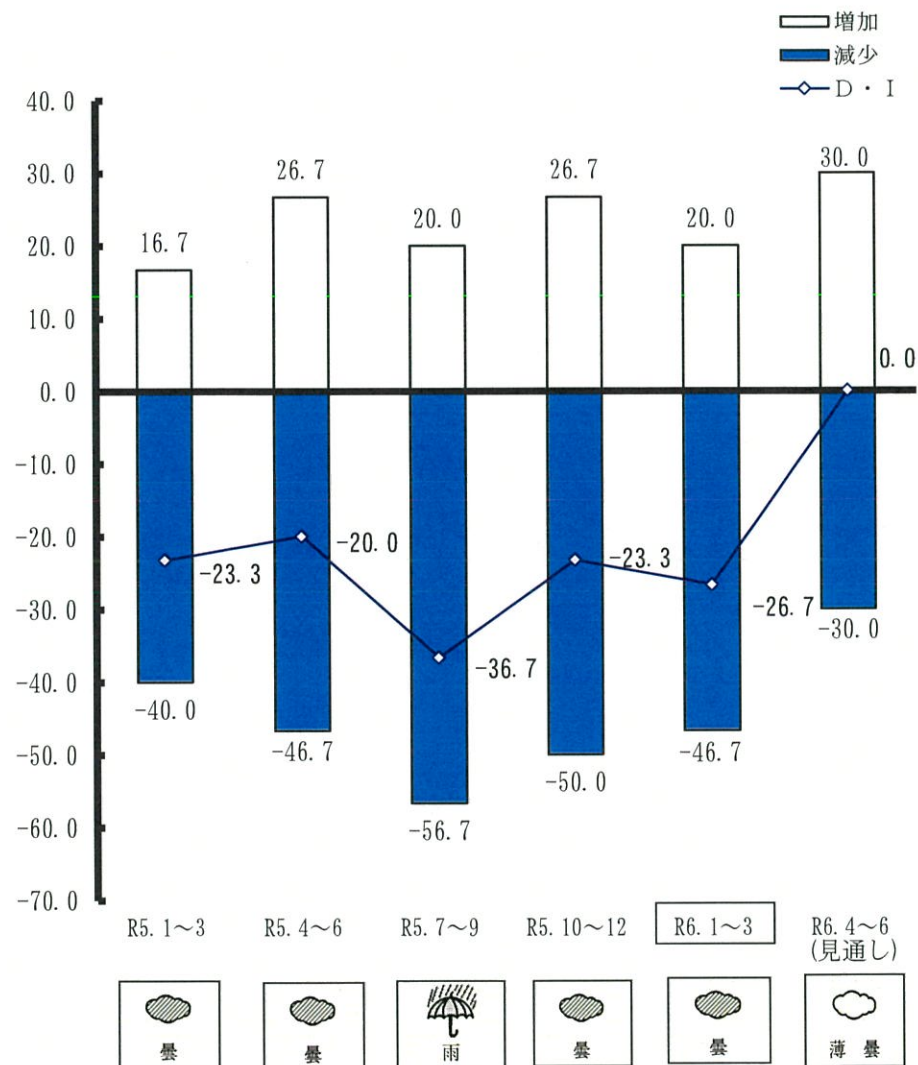


<来期見通し>



今期は、売上高増加企業の割合が6.7ポイント減少し、売上高減少企業の割合も3.3ポイント減少したものの、売上高増加企業の減少幅が大きかったことから、売上高D・Iは3.4ポイントの低下となり△26.7となっています。

来期は、売上高の増加を予想する企業割合が増加し、売上高の減少を予想する企業割合が減少することから、売上高D・Iは大幅に改善する見通しです。



採算

<今 期>

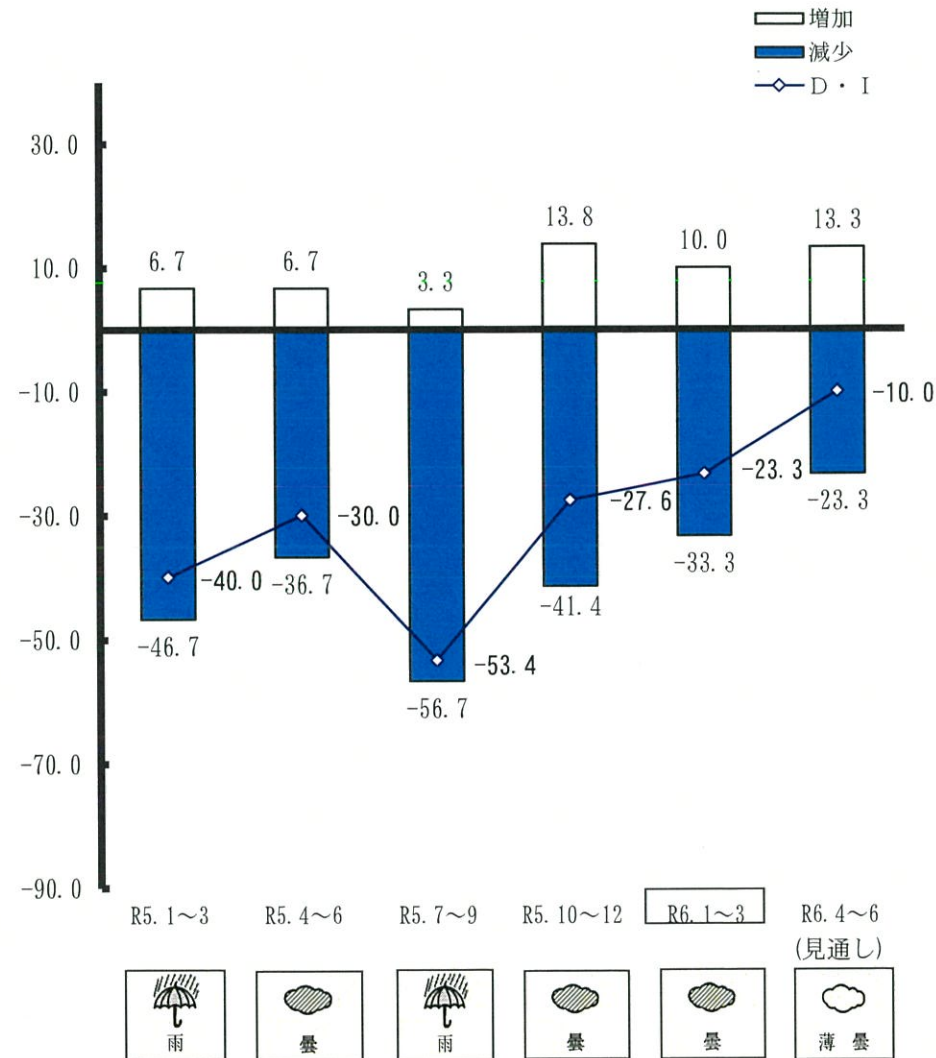


<来期見通し>



今期は、採算が改善した企業の割合は3.8ポイント減少したものの、採算が悪化した企業の割合が8.1ポイントの減少となったことから、採算D・Iは4.3ポイントの上昇となり、△23.3まで改善しました。

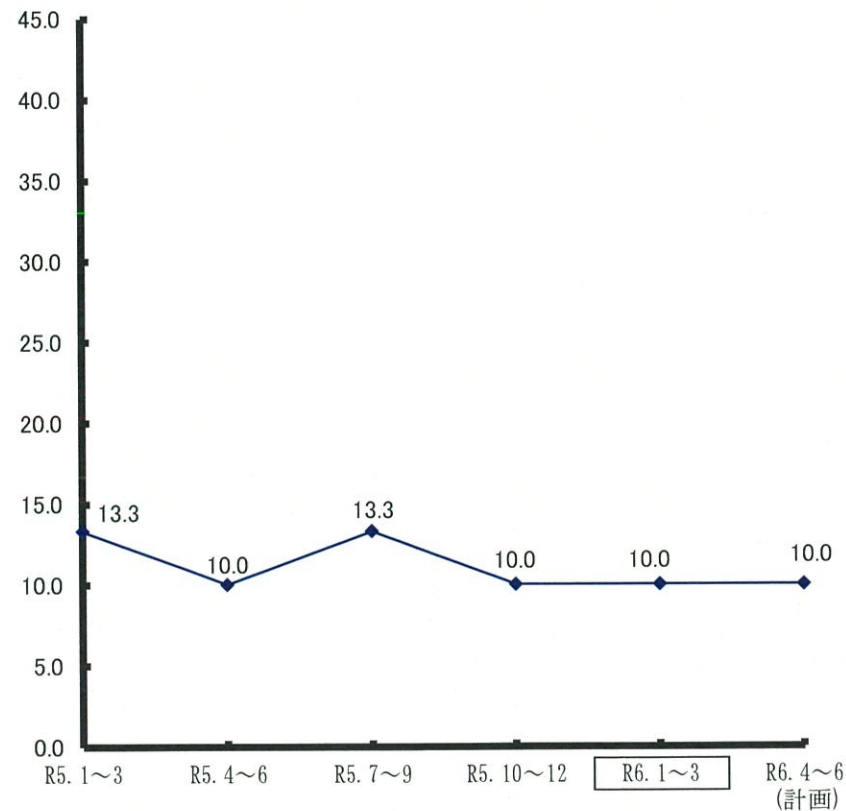
来期は、採算の改善を予想する企業が増加に転じ、採算の悪化を予想する企業が減少となることから、採算D・Iは、引き続き上昇し、景況天気図も曇りから薄曇りへと変化する事が予想されています。



設備投資

今期製造業において設備投資を実施した企業数の割合は前期と同じ水準の10.0にとどまっています。

来期は、設備投資を実施する企業数の割合は今期と同じレベルにとどまることが予想されています。



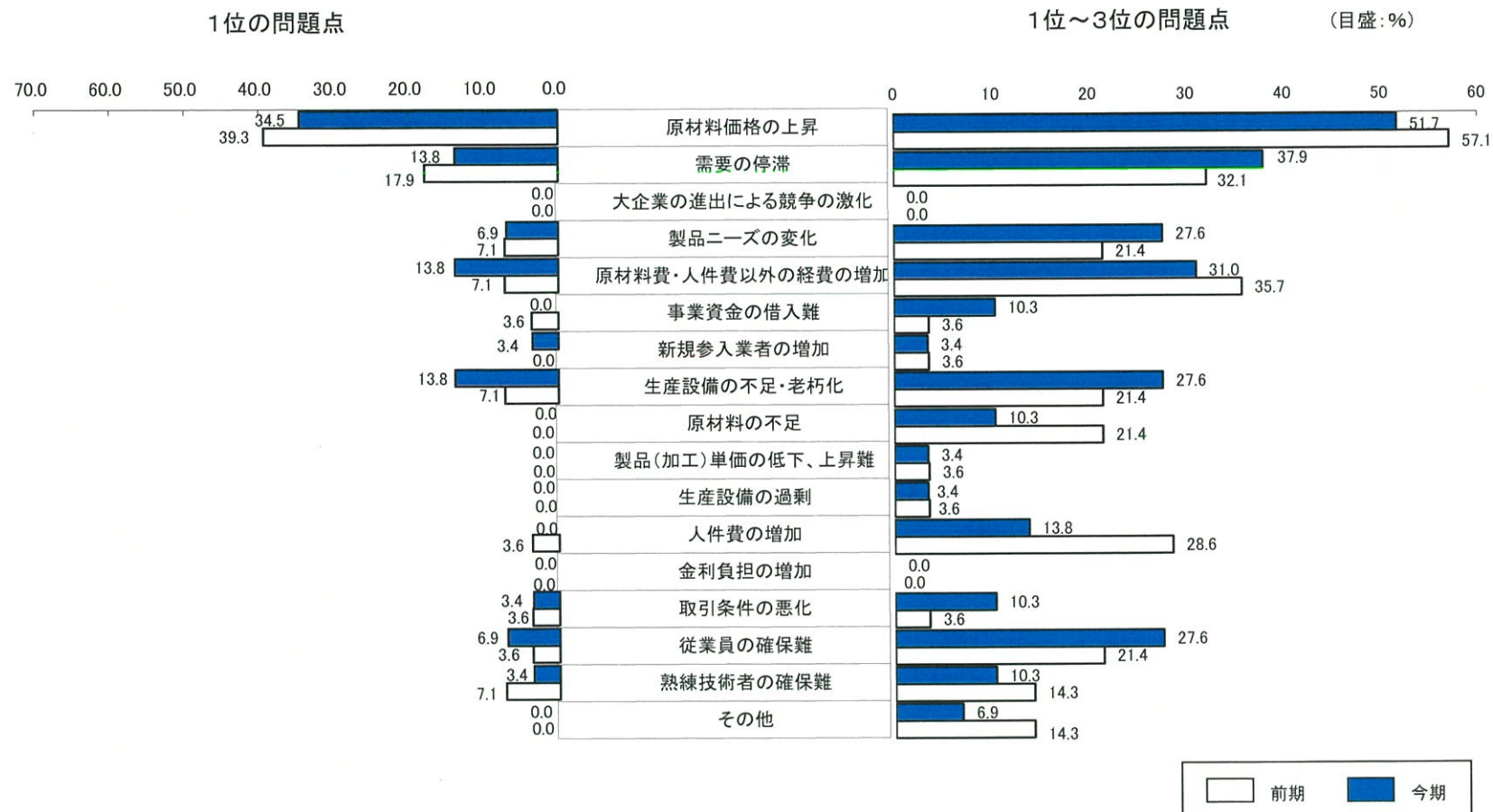
(注) この指標は、規模の大小にかかわらず、設備投資を実施した企業数の割合を示します。

製造業の推移

経営上の問題点

岩手県 製造業

経営上の問題点の状況(1位と1位～3位)



建設業の推移

売上高

<今 期>

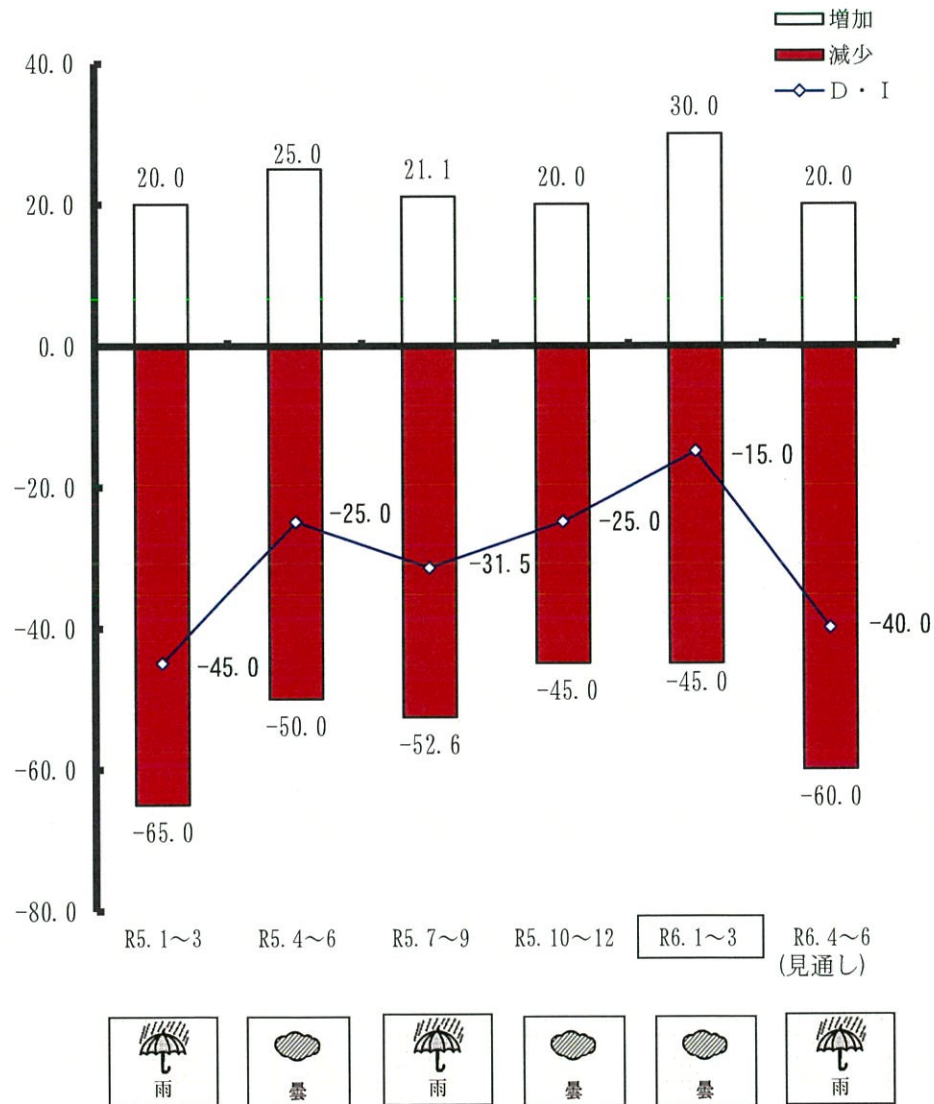


<来期見通し>



前期改善に転じていた建設業の売上高D・Iは、前期に引続き上昇しています。今期は、売上高が増加した企業割合が10.0ポイント増加し、他方、売上高が減少した企業割合が前期と横ばいにとどまったため、売上高D・Iは2期連続の上昇となり、△15.0まで回復しています。

来期は、売上高の増加を予想する企業の割合が減少に転じ、売上高の減少を予想する企業の割合が大幅に増加することから、売上高D・Iは大幅に悪化することが予想されています。



※建設業の売上高は完成工事高

建設業の推移

採算

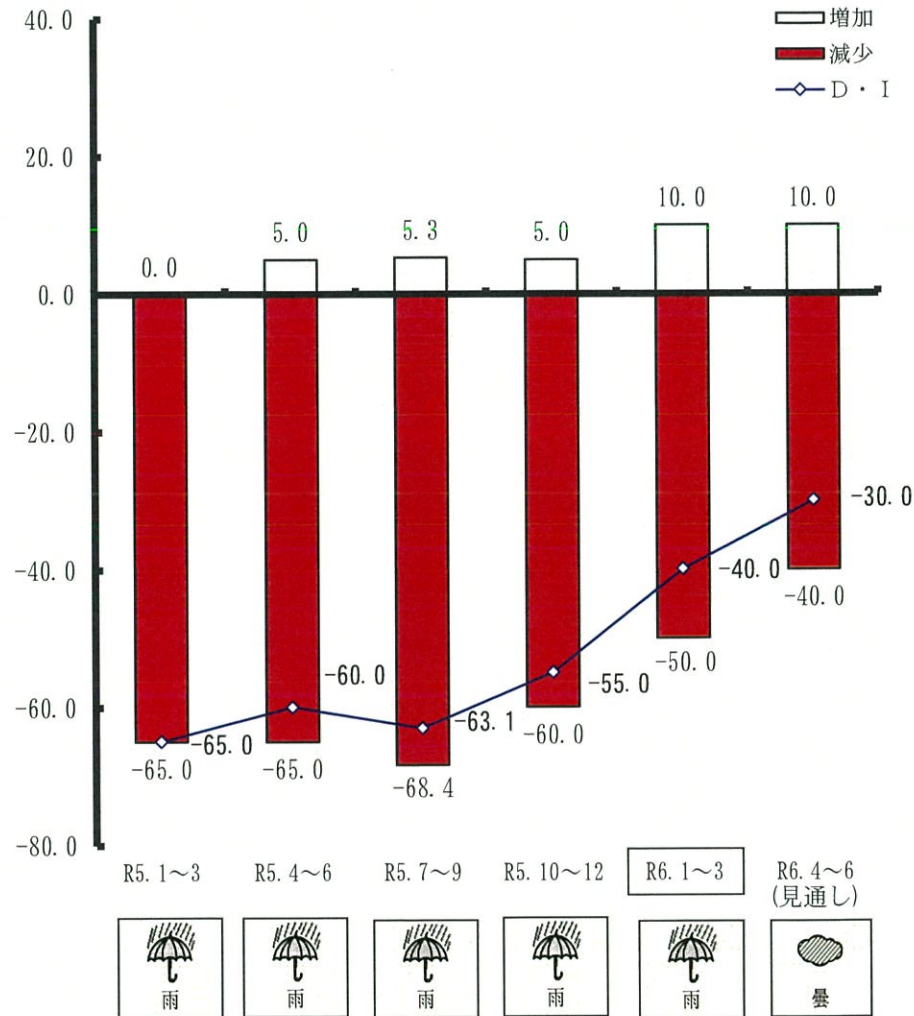
<今 期>

<来期見通し>



今期は、採算が改善した企業の割合が、5ポイント増加し、採算の悪化を挙げた企業の割合が10.0ポイント減少したため、採算D・Iは15.0ポイント上昇し、△40.0まで回復しています。

来期は、採算の改善を予想する企業は今期と横ばいにとどまるものの、採算の悪化を予想する企業が連続して減少することから、採算D・Iは今期に引続き改善し、景況天気図も雨から曇へと変化することが予想されています。

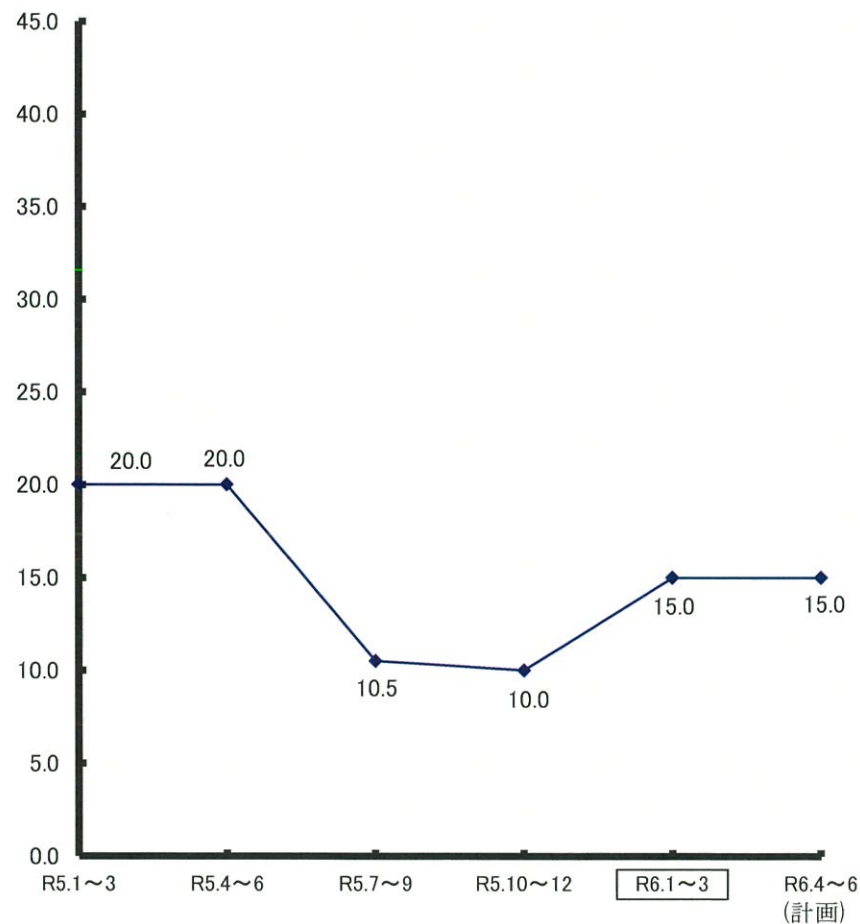


設備投資

建設業において設備投資を実施した企業数の割合は、前期から5ポイント増加し15.0となりました。

来期は設備投資を実施する企業数の割合は今期に引続き15.0程度となることが予想されます。

(注) この指標は、規模の大小にかかわらず、設備投資を実施した企業数の割合を示します。

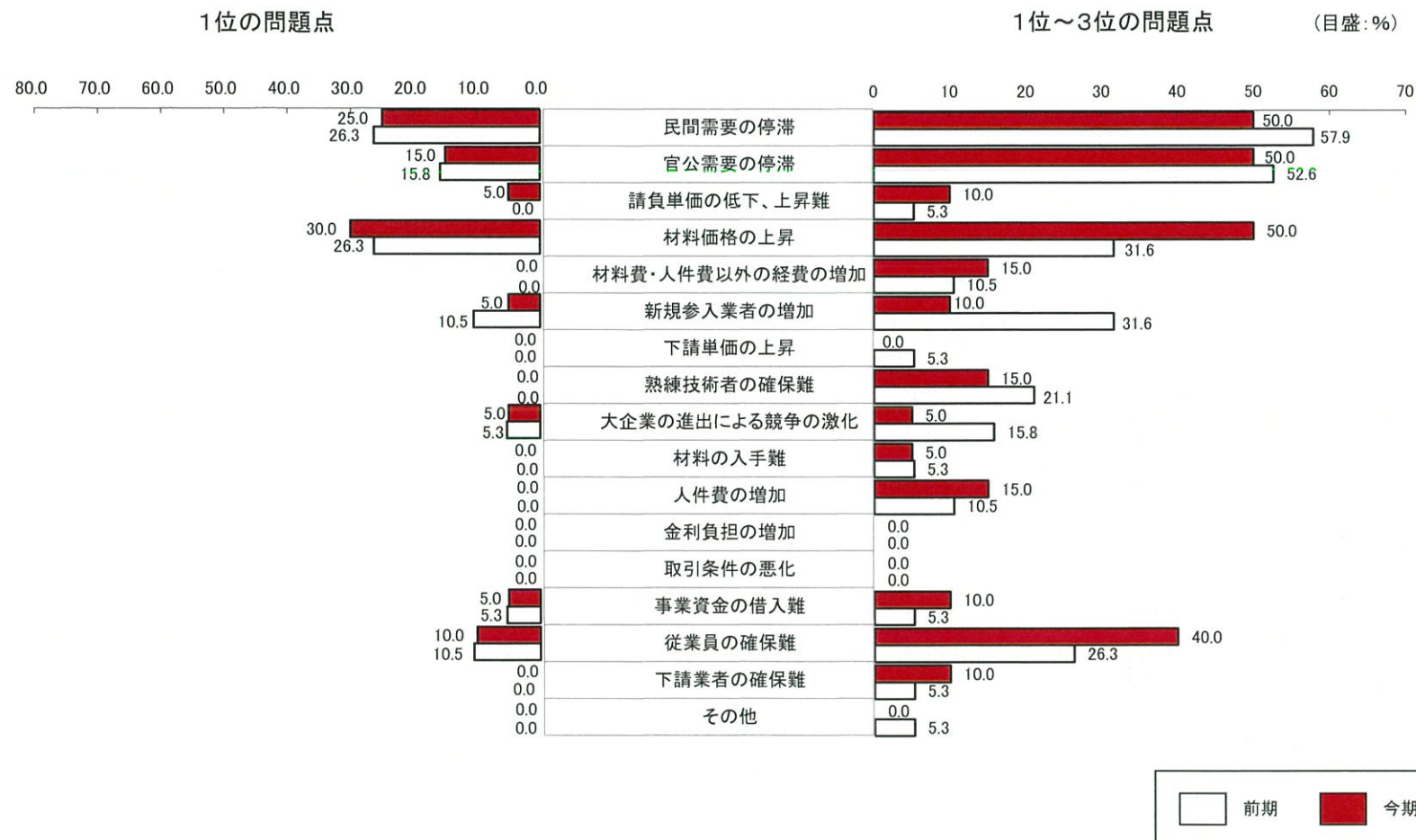


建設業の推移

経営上の問題点

岩手県 建設業

経営上の問題点の状況(1位と1位～3位)



小 売 業 の 推 移

売 上 高

<今 期>

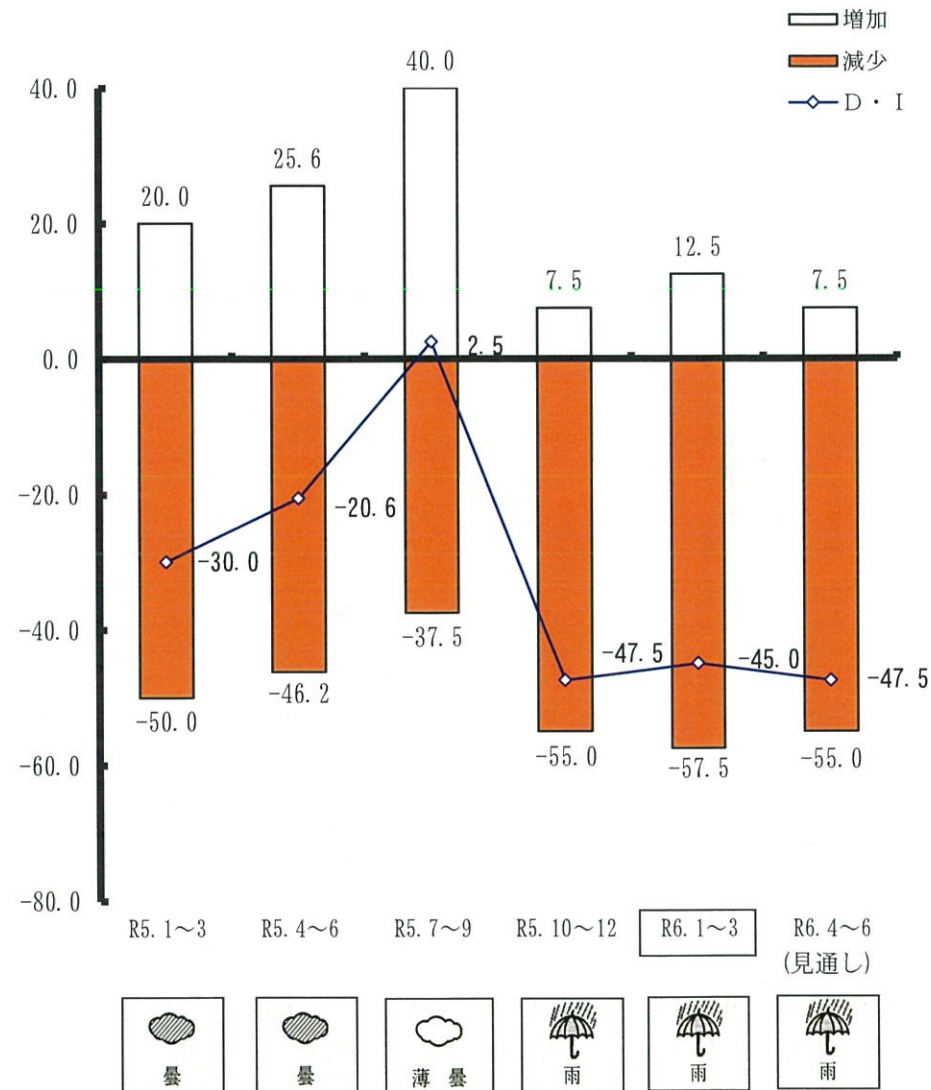


<来期見通し>



今期は、売上高増加企業の割合が5.0ポイント増加したものの、売上高減少企業の割合も2.5ポイント増加したことにより、売上高D・Iは2.5ポイントの小幅な改善にとどまりました。

来期は、売上高の増加を予想する企業割合が減少に転じ、売上高減少を予想する企業割合が小幅な減少となっていることから、売上高D・Iは悪化に転じる見通しです。



小 売 業 の 推 移

採 算

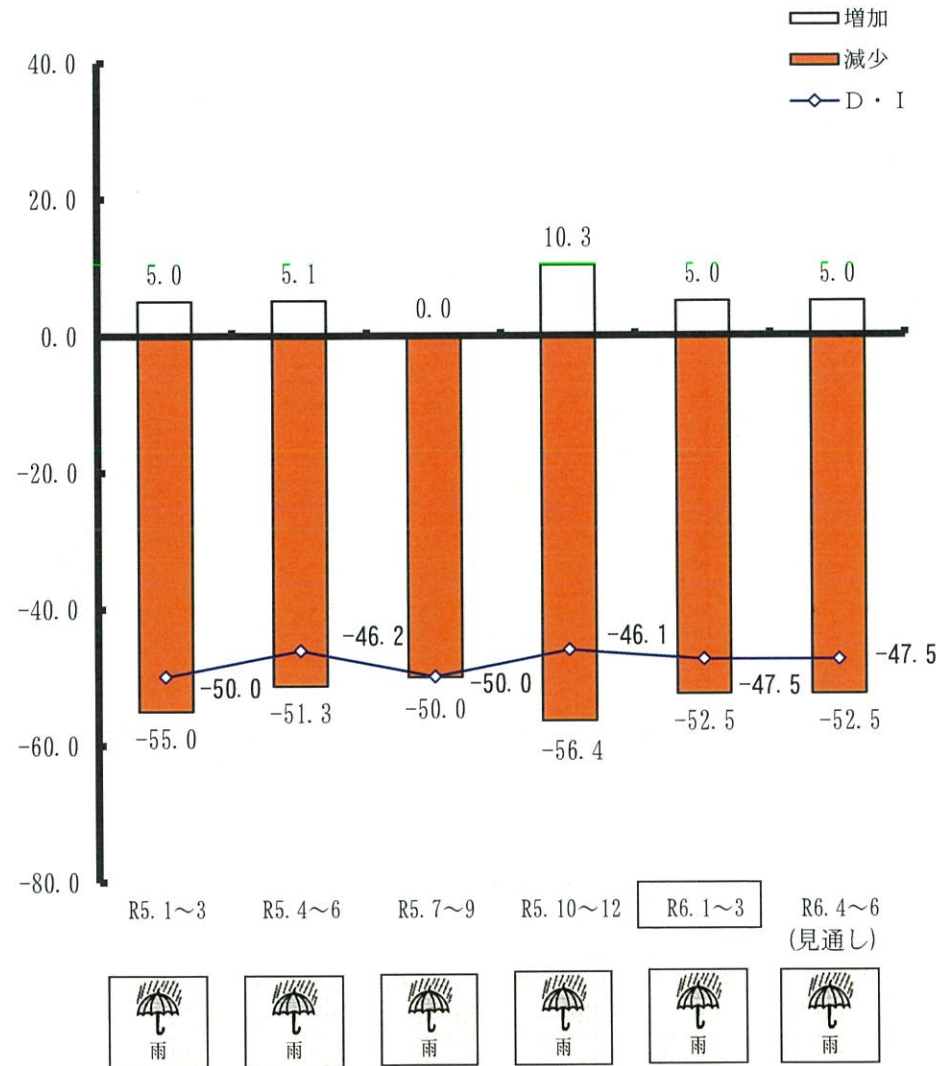
<今 期>

<来期見通し>



今期は、採算が改善した企業の割合が5.3ポイント減少し、採算が悪化した企業割合が3.9ポイントの減少となったことから、採算D・Iは1.4ポイントの小幅な悪化となりました。

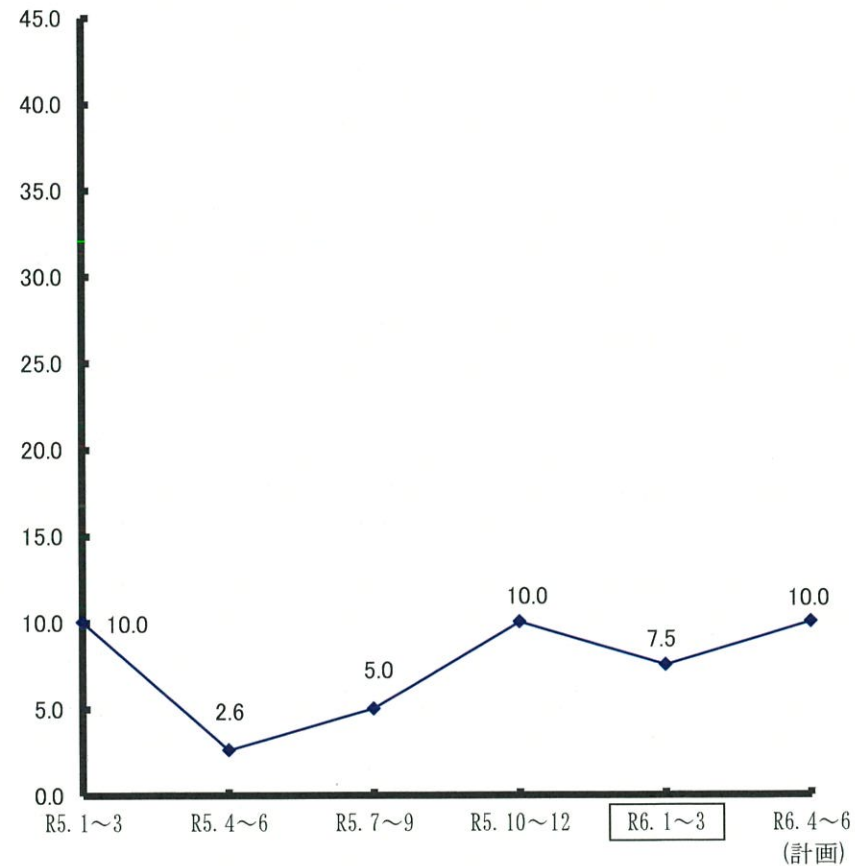
来期は、採算の好転を予想する企業割合、採算の悪化を予想する企業割合がともに今期と同じレベルとなっていることから、採算D・Iは今期と横ばいとなる見通しです。



設備投資

今期、小売業において設備投資を実施した企業数の割合は前期より2.5ポイント減少して7.5となっています。

来期は、設備投資を計画している企業数の割合は小幅に増加する見通しです。



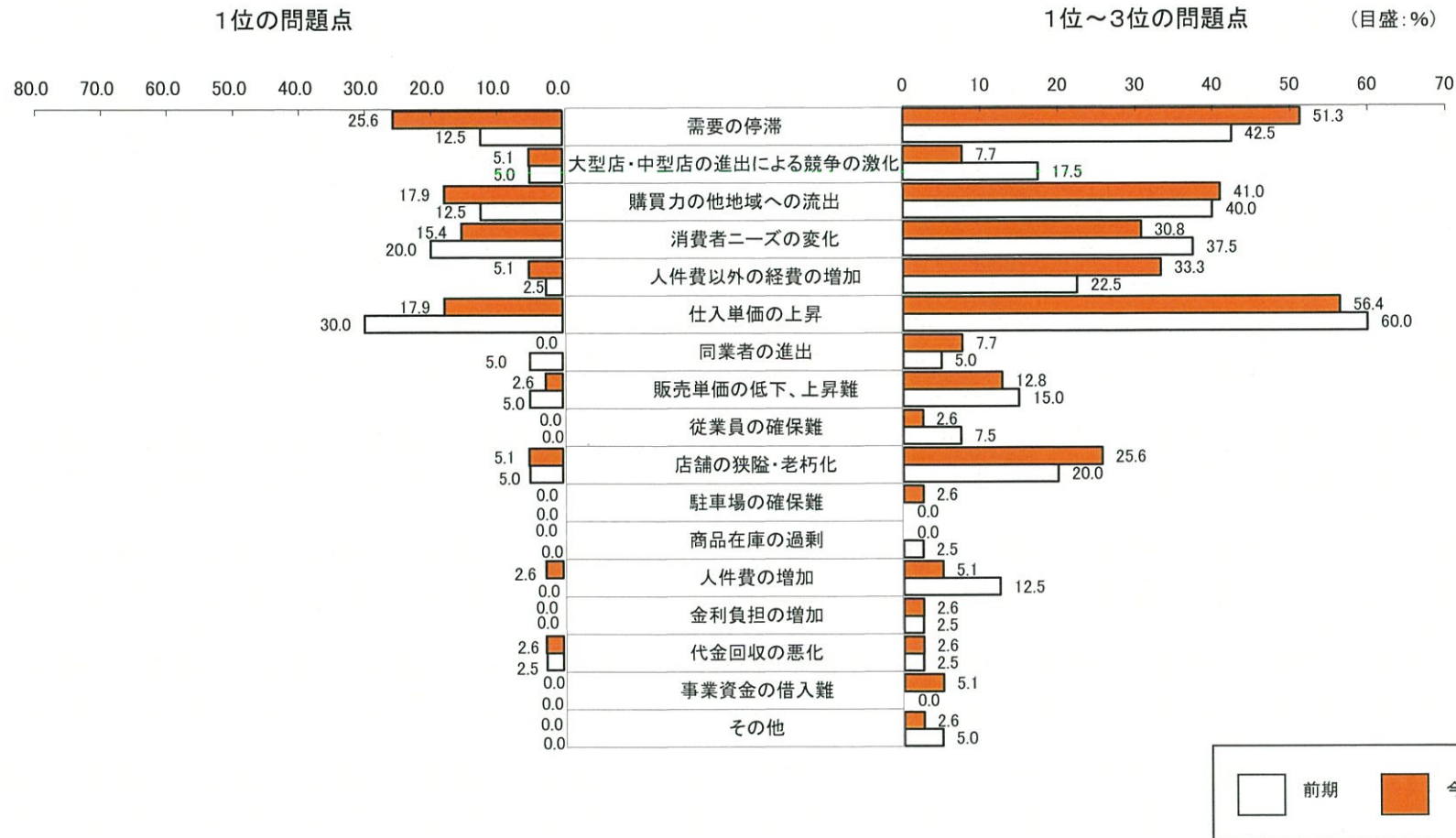
(注) この指標は、規模の大小にかかわらず、設備投資を実施した企業数の割合を示します。

小売業の推移

経営上の問題点

岩手県 小売業

経営上の問題点の状況(1位と1位～3位)



サービス業の推移

売上高

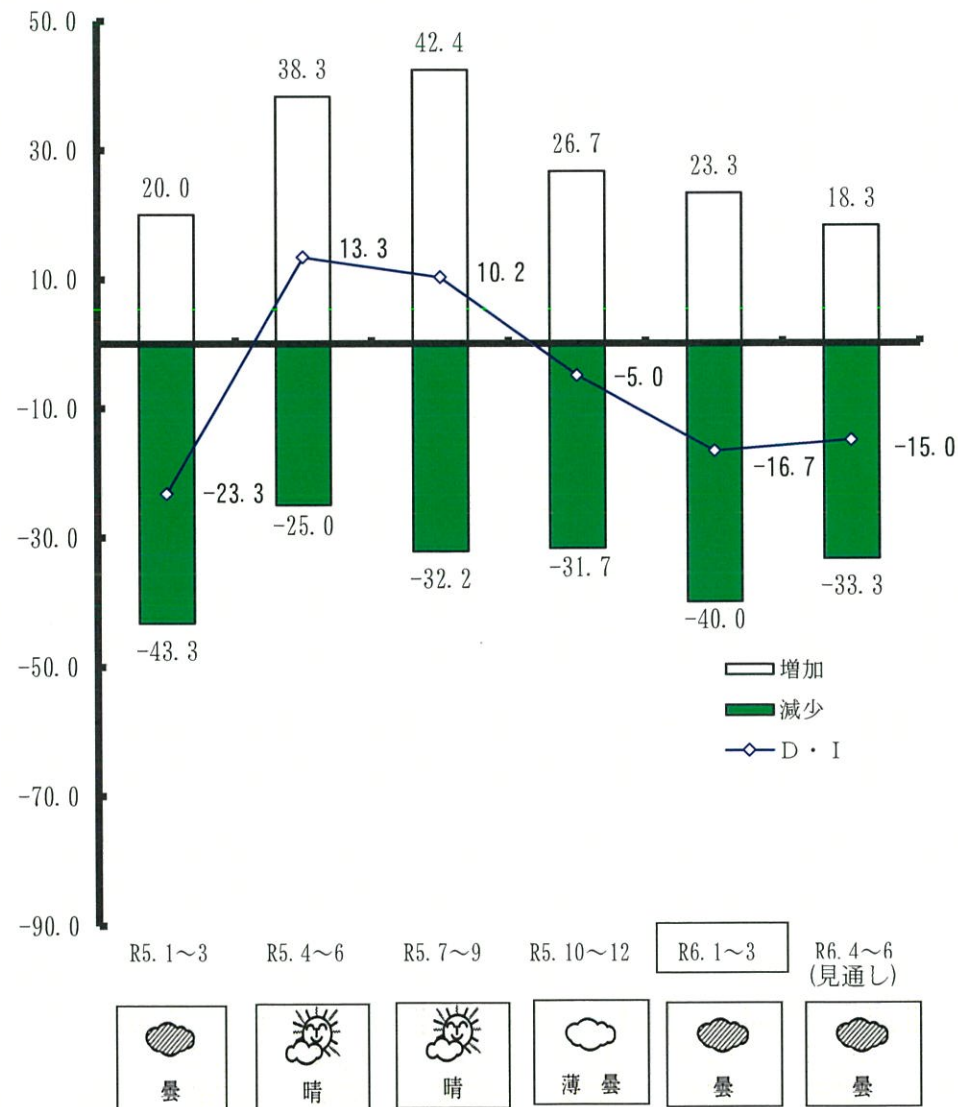
<今 期>

<来期見通し>



前期プラス域からマイナス域へと悪化していた売上高D・Iは、今期も引き続き低下しました。売上高増加企業の割合は3.4ポイント減少し、売上高減少企業の割合が8.3ポイント増加したことにより、売上高D・Iは11.7ポイント低下して△16.7となりました。景況天気図も薄曇から曇へと変化しました。

来期は、売上高増加を予想する企業の割合が引続き減少するものの、売上高減少を予想する企業割合が減少していることから、売上高D・Iは僅かながら改善することが予想されています。



サービス業の推移

採算

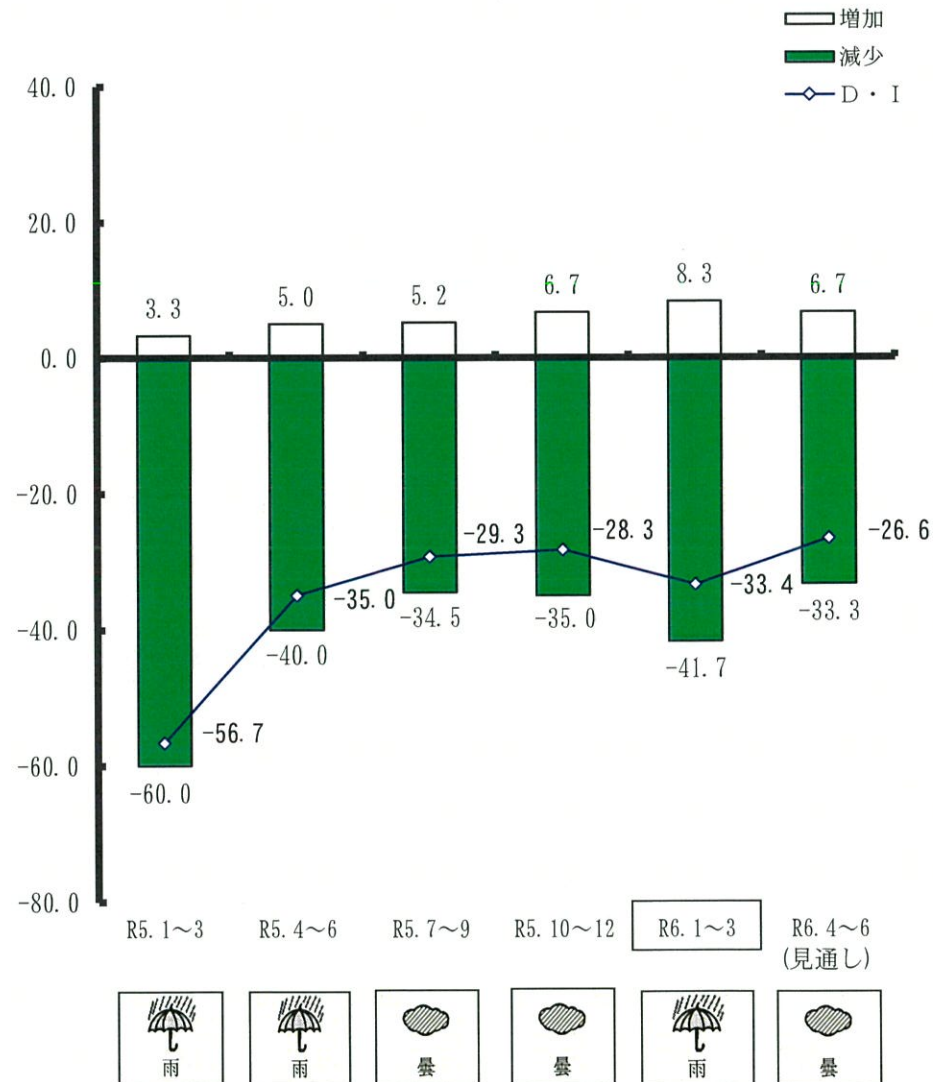
<今 期>

<来期見通し>



今期は、採算が改善した企業割合が1.6ポイント増加したものの、採算が悪化した企業割合が6.7ポイント増加したことにより、採算D・Iは低下に転じ、△33.4まで悪化しました。

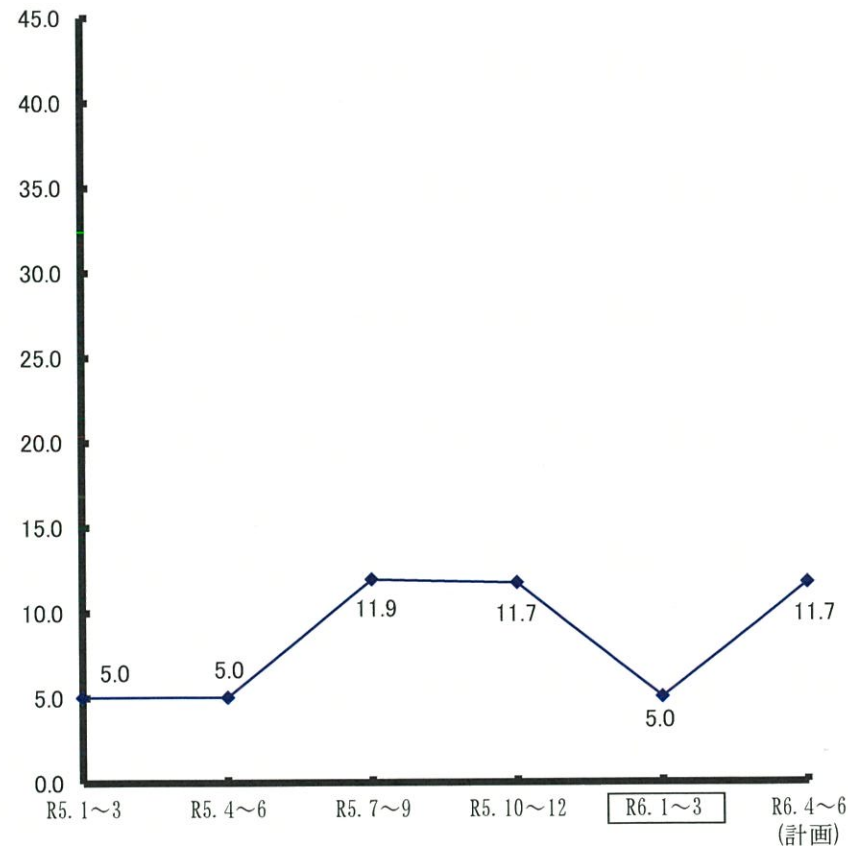
来期は、採算の改善を予想する企業割合が減少するものの、採算の悪化を予想する企業割合が減少することから、採算D・Iは上昇に転じ、△26.6まで改善する見通しです。



設備投資

今期設備投資を実施した企業数の割合は大きく減少し、5.0ににとどまっています。

来期は、設備投資を実施する企業数の割合は増加に転じ、11.7程度まで回復する見通しです。



(注) この指標は、規模の大小にかかわらず、設備投資を実施した企業数の割合を示します。

サービス業の推移

経営上の問題点

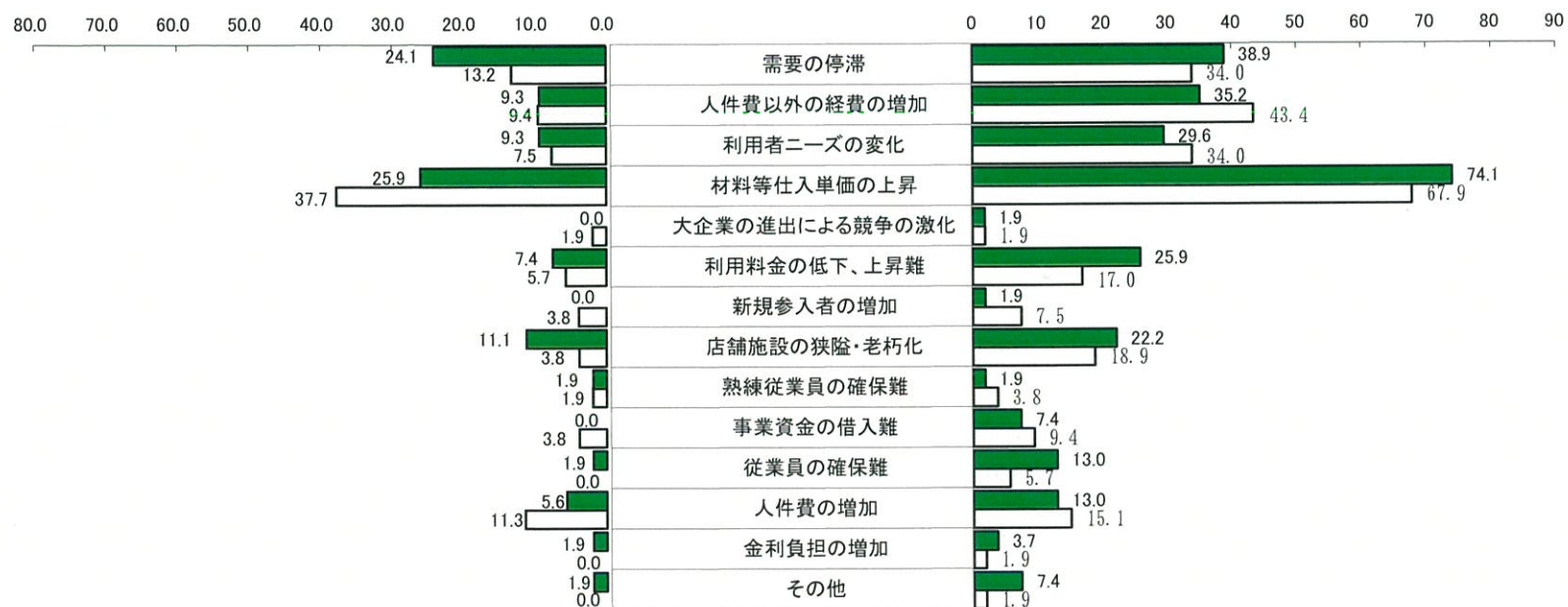
岩手県 サービス業

経営上の問題点の状況(1位と1位～3位)

1位の問題点

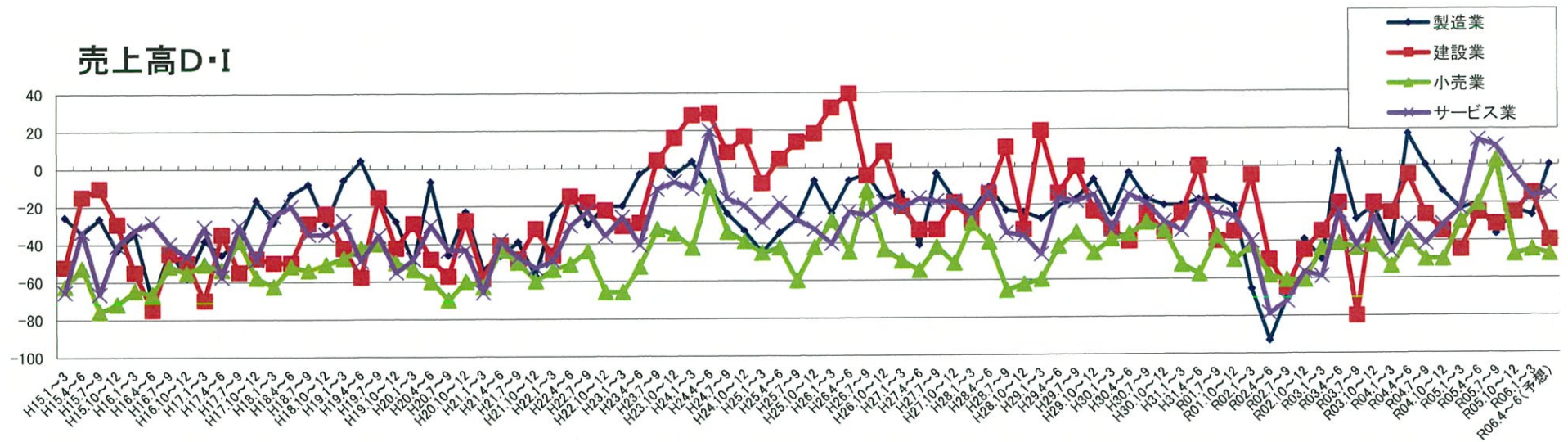
1位～3位の問題点

(目盛: %)

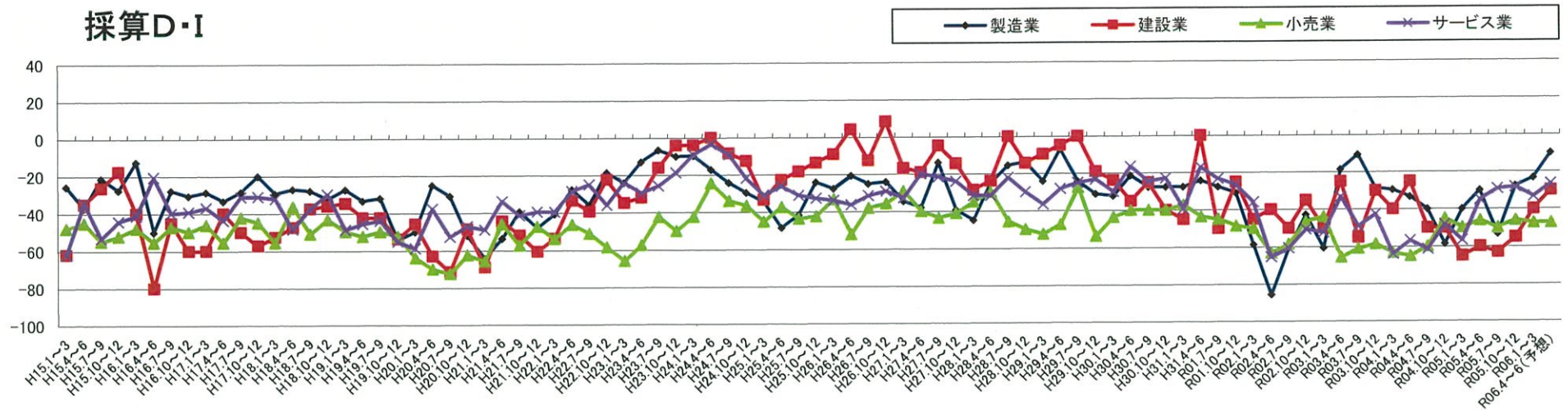


全産業の過去データの推移(平成15年1月以降)

売上高D・I



採算D・I



集 計 資 料

調 査 要 項

1. 調 査 対 象 (1) 対象地区 県内10商工会地区 遠野、陸前高田、雫石、岩手町、紫波町
(商工会名) 西和賀、田野畑村、普代、軽米町、九戸村
- (2) 対象企業数 150 企業
- (3) 回答企業数 150 企業
2. 調 査 対 象 期 間 令和6年1月～3月を対象とし、調査時点は令和6年3月1日としました。
3. 調 査 方 法 (1) 商工会の経営指導員が訪問面接し、聞き取りにより行いました。
(2) 調査対象地区の設定は、商工会地区市町村人口規模別の実態を勘案して行い、調査対象事業の抽出は、業種規模等有意選出により行いました。

4. 対象企業等内訳

業種 \ 項目	対 象 企 業 数	回 答 企 業 数	回 答 率 (%)
製造業 (地域産業)	30 (20.0)	30 (20.0)	100.0
建設業	20 (13.3)	20 (13.3)	100.0
小売業	40 (26.7)	40 (26.7)	100.0
サービス業	60 (40.0)	60 (40.0)	100.0
	150 (100.0)	150 (100.0)	100.0

(注) カッコ内の数字は、構成比 (%) を表す。

5. そ の 他 本報告書中のD・Iとは、ディフュージョン・インデックス（景気動向指数）の略で、各調査項目についての増加（上昇、好転、長期化）企業割合と減少（低下、悪化、短期化）企業割合の差を示すものであります。